

# ゼロから学ぶ 広報・PR実務

社会情報大学院大学リカレント教育プログラム

受講料  
無料

「ゼロから学ぶ広報・PR実務」について  
 広報担当者を育成することを目的とした短期集中プログラムです。授業および実習を通じて、  
 広報・PRの基礎知識や基礎技術をはじめ、  
 情報社会やSNS広報といった最新の場面における  
 実際の業務にも役立つスキルを提供することで、  
 受講者のキャリアアップを応援します。

- 期間** 2021年10月～2022年3月(6か月)
- 授業日** 毎週金曜日18時30分(主にオンライン・全60時間)
- 対象** 広報担当者としての就職・転職をめざす方  
スキルアップをめざす現職広報担当者

説明会

8月4日(水)  
8月7日(土)  
8月19日(木)

その他の日程は  
QRコードから  
ご確認ください。

申込み切

1次 8月5日(木)  
2次 8月19日(木)  
3次 9月2日(木)  
4次 9月16日(木)



募集要項・説明会申込は  
HPよりお申し込みください。

## 文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」採択プログラム

新型コロナウイルス感染症の影響により、解雇見込み労働者数が増加しています。  
 本プログラムは非正規雇用労働者、失業者、キャリアアップを目指す若者を対象とした、文部科学省の委託事業です。

# カリキュラム

※授業は原則オンライン(一部ハイフレックス方式)で実施します。

週	領域	授業名	内容
受講前	ガイダンス	ガイダンス(1時間)	本プログラムの趣旨や目的、学び方について説明します。 インターンや合同就職説明会への参加方法についても説明します。
第1週 ～ 第4週	広報基礎理論	広報・PRの基礎理論Ⅰ・Ⅱ コミュニケーションの基礎理論 マーケティングの基礎理論 広報関連法規	座学を中心に、広報分野のあらゆる視点に関する基礎的知識を網羅的に学びます。これからの時代の広報に対する需要といった、「PR/広義の広報」の意義についてもここで学びます。
第5週	キャリア①	広報のキャリアと実務Ⅰ・Ⅱ (B to B企業、B to C企業)	広報担当者として働く実務家による講義です。B to B企業、B to C企業における広報への向き合い方や日々の業務の流れについて学びます。
第6週 ～ 第10週	広報基礎技法	情報収集の技法Ⅰ・Ⅱ ライティング・エディティング基礎Ⅰ・Ⅱ ライティング・エディティング実習Ⅰ・Ⅱ プレゼンテーション技法Ⅰ・Ⅱ プレゼンテーション実習Ⅰ・Ⅱ	広報担当者として必要な情報のインプットおよびアウトプットの技法について学びます。こうした技法はプレスリリースの執筆や記者会見の実施といった、実際の広報担当者としての実務などに活用できるほか、ビジネスの基礎としてあらゆる業種・業界においても役立つスキルです。
第11週	キャリア②	広報のキャリアと実務Ⅲ・Ⅳ (行政、NPO)	広報担当者として働く実務家による講義です。自治体や非営利組織における広報への向き合い方や日々の業務の流れについて学びます。
第12週 ～ 第18週	広報実務	IC(組織内広報)の基礎・実務 IR(投資家向け広報)の基礎・実務 CSR/SDGs広報の基礎・実務 危機管理広報の基礎・実務 マーケティングの実務 ブランディングの実務 メディアリレーションズの基礎・実務 SNS広報の基礎・実務	「広報基礎理論」「広報基礎技法」において学んだ内容を踏まえつつ、広報担当者の職能領域について網羅的に学びます。 2講ずつ行う授業のうち、前半を座学・後半をワークショップ形式の実習とし、学んだ知識を実際の業務に応用するプロセスを繰り返し経験するなかで、広報担当者として勤務する際に役立つ知識とテクニックを総合的に身につけます。
第19週	キャリア③	広報のキャリアと実務Ⅴ・Ⅵ (スタートアップ、グローバル)	広報担当者として働く実務家による講義です。 スタートアップ企業やグローバル企業における広報への向き合い方や日々の業務の流れについて学びます。
第20週	インターン	広報現場実習	プロジェクト参画企業等において現場実習を行います。これまでに学修した内容を実践することで、学習内容を総合的に振り返るとともに、広報担当者としての職業倫理を身につけます。

※スケジュールは予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。  
※本課程は修了者全員の就職および転職を保障するものではありません。

## 受講の流れ

